

172.新型コロナウイルス感染症（SARS-COV-2：COVID-19）重症患者における栄養評価に関する研究

研究の概要

COVID-19重症患者に対する治療において、栄養サポートを組み合わせることが重要とされています。集中治療室（Intensive Care Unit：ICU）入室の重症患者の栄養療法開始については栄養評価や重症度などのリスク判定を行うことが提言されています。しかし、日本におけるCOVID-19重症患者に対する簡便な栄養評価に関する報告は少ないのが現状です。本研究は治療中に採血項目として実施されているアルブミンと総リンパ球数を用いた計算式PNIが人工呼吸管理日数・ICU在室日数と関連があるかを調査するものになります。

現状、本邦においてCOVID-19重症患者の栄養評価についての報告は少なく、人工呼吸管理日数・ICU在室日数への影響を検証することは、治療の一助となる重要な事項と考えます。

研究の目的と方法

本研究の目的は、COVID-19重症患者の栄養状態と人工呼吸管理日数・ICU在室日数について検討することです。日常診療で得られた臨床データ（年齢、性別、身体所見や生化学検査など）を電子カルテから集計・統計分析を行う後ろ向き研究です。

本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、令和2年4月1日～令和4年9月30日の期間中、国立病院機構熊本医療センターICUに入室した患者さんを対象としています。新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究終了後の収集したデータは、鍵をかけたファイルにて5年間保管ののち、破棄いたします。

調査期間

研究対象期間：令和2年 4月 1日～令和 4年 9月 30日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 6年 3月 31日まで

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 加來正之

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 加來正之

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 栄養管理室 加來正之

電話：096-353-6501